



たんぽぽだより

平成 31 年 2 月号 No.43

砂川市病児・病後児保育施設
TEL 0125-54-2278

暦の上では立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続いています。2月は一年で一番寒い時期でもありますね。2月3日は『節分』です。節分というのは古くから季節の分かれ目を表し、この日を境に『春』になります。季節の変わり目は、天候が不安定で体調を崩しやすいので、日頃から規則正しい生活を心がけ、感染症予防に気を配りながら、元気いっぱいにご過ごしていきたいですね。

薬の飲ませ方

シロップ(水薬)

薄めずにそのまま飲ませます。乳児は必要な量をスポイトやスプーンで取り、口の中に入れてみましょう。

粉薬

●水で溶く場合

少量の水か、ぬるま湯で薬を溶かします。飲ませる時はスプーンやスポイト、小さい容器などを使いましょう。

●直接口に入れる場合

開いた状態の口の中に直接粉薬を入れます。

●練る場合

小さな器に粉薬を入れ、数滴の水をたらし、だんご状に練ります。練った薬は頬の内側あたりに塗ります。

食品に混ぜる時は

オレンジジュース、りんごジュース、スポーツドリンク、ヨーグルトなどの酸味がある物は薬によっては混ぜることができません。食品に混ぜる場合、残してしまうこともあるので、薬を混ぜる時の量は少なめにしましょう。また、ミルク、おかゆなど、主食には混ぜないようにしましょう。味の変化で食べ物自体を嫌いになってしまう可能性があります。

*どのような飲ませ方をした場合も薬を飲んだ後は水や湯冷ましを飲ませましょう。



病児・病後児保育室の様子



先月は、中耳炎、急性上気道炎、アデノウイルス感染症での利用がありました。保育室、玄関の壁面は、ディズニーになりましたよ。



インフルエンザがはやっています

インフルエンザが流行しています。この時期、人ごみへの外出はなるべく避けるようにしましょう。インフルエンザの潜伏期間は1~2日、感経路は飛沫感染や接触感染です。突然高熱が出て、全身の倦怠感・筋肉や関節の痛みがあり、咽頭痛、咳、くしゃみ、鼻水などの症状があれば受診しましょう。もしインフルエンザにかかった場合は、医師の許可が出るまで「登園、登校禁止」となります。予防のためにも、家に帰ったら、うがいとせっけんを使った手洗いを心がけましょう。

